

ウィキペディア

観音寺 (鈴鹿市寺家)

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

観音寺（かんのんじ）は、三重県鈴鹿市にある、高野山真言宗の仏教寺院。山号は 白子山（しろこざん）。本尊は白衣観世音菩薩。

目次

歴史

境内

文化財

天然記念物（国指定）

三重県指定有形文化財

所在地

年中行事

近隣施設

アクセス

脚注

参考文献

関連項目

外部リンク

観音寺



仁王門（三重県指定有形文化財）

所在地	三重県鈴鹿市寺家3丁目-2-12
山号	白子山
宗派	高野山真言宗
本尊	白衣観世音菩薩
開基	道證上人
別称	子安観音
札所等	三重四国八十八箇所 16番札所 伊勢西国三十三所観音霊場 19番札所
法人番号	1190005004134 (https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=1190005004134)

歴史

聖武天皇の勅により、藤原不比等が建立したとされ、天平勝宝3年（751年）道證上人開山の1250年以上続く寺院で、寺伝によると、本尊の白衣観世音菩薩が、当寺の東側にある鼓ヶ浦の海中より、鼓に乗って現れたといわれ、安産、子孫長久を守り、子安観音として、現在まで人々の信仰を集めている。

称徳、正親町、後花園各天皇の絵画や、徳川御三家の安産祈願文等を所蔵している。

境内

天平宝字年中（757年 - 765年）、落雷で焼失した伽藍跡に、芽生えたといわれる不断櫻が、年中葉や花を咲かせている。国指定の天然記念物に指定されている。

山門（仁王門）は元禄16年（1703年）建立で、昭和57年（1982年）に修理を行い、門の左右には、鎌倉様式の金剛力士像2体が安置されている。境内中央には、寛文6年（1666年）に作られた、銅燈籠が置かれており、共に三重県指定の文化財に指定されている。

平成10年（1998年）に三重塔が建てられ、金剛界大日如来、文殊菩薩、普賢菩薩を祀っている。

文化財

天然記念物（国指定）

- 白子不断櫻　大正12年（1923年）3月7日指定

1年中花が咲いている不思議な桜として、江戸時代から有名で、伊勢参宮名所図会にも紹介されている。真夏以外花を見ることができるが、満開状態ではなく、梢のあちこちに花が見られるものであり、葉の一部は真冬でも枝に残っている。花は白色、一重の五弁で、花の中央部が赤味を帯びている^[1]。

三重県指定有形文化財

- 観音寺仁王門（建造物）　昭和47年（1972年）4月1日指定

三間一戸の楼門、入母屋造り、本瓦葺。柱総円柱。上層は三手先で尾柱を用い、腰組もまた三手先とし、上層中央は棧唐戸を開き、下層正面は金剛柵を設けて、金剛力士像を両脇に配する。「仁王門諸事入用目録」によると、元禄16年（1703年）に建立されたことが記されており、元禄期楼門形式の堂々たる構えである^[2]。

- 銅燈籠（工芸品）　昭和47年（1972年）4月1日指定

総高250cm、基礎幅110cm。笠、火舎、中台、竿、反り花基礎5辺を、個別に鋳造し組み合わせたもので、上部宝珠周辺の火焰を除いて、完全に残っている。竿に「治工津之住前但馬守次男　辻三上衛門尉藤原玄種」「寛文六（1666）年丙午暦十二月吉祥日」と陰刻されている。作者の玄種は、津市釜屋町の鋳工として、江戸時代に名声を博した辻越後、但馬のうち、但馬家の祖辻但馬守吉種の次男である。^[3]

所在地

- 三重県鈴鹿市寺家3丁目-2-12

年中行事

- 1月1 - 3日　修正会
- 2月節分の日　節分会
- 3月初旬　初午大法会
- 4月17日　不断桜供養会
- 8月10日　十日観音会式（午前0時開扉）
- 8月17日　盆観音会式

近隣施設

- 鼓ヶ浦海水浴場
- 鈴鹿サーキット
- 福楽寺 (鈴鹿市)　三重四国八十八箇所　17番札所

アクセス

- 近鉄 鼓ヶ浦駅より南へ約0.5km
- 国道23号寺家口より東へ約0.6km

脚注

- ↑ 三重の文化財 白子不断櫻 (<http://www.pref.mie.jp/BUNKAZAI/HP/fromDB/A010/167.htm>)
- ↑ 三重の文化財 観音寺仁王門 (<http://www.pref.mie.jp/BUNKAZAI/HP/fromDB/A010/170.htm>)
- ↑ 三重の文化財 銅燈籠 (<http://www.pref.mie.jp/BUNKAZAI/HP/fromDB/A010/182.htm>)

参考文献

- 滝本昭二『三重四国八十八ヵ所霊場』三重四国八十八ヵ所霊場会:40 - 41

関連項目

- 三重四国八十八箇所

外部リンク

- 三重四国八十八ヶ所霊場（観音寺） (<http://www.mieshikoku88.net/16.html>)

「[https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=観音寺_\(鈴鹿市寺家\)&oldid=68400168](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=観音寺_(鈴鹿市寺家)&oldid=68400168)」から取得

最終更新 2018年5月2日 (水) 04:43（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。